

研究実施のお知らせ

2026年2月13日 ver.1.0

研究課題名

島根県内の住民健診を活用したバイオバンク：試料・情報の収集と提供に関する事業

研究の対象となる方

2005年1月から2026年3月の間に島根大学が実施した「生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究」に参加された方

研究の目的・意義

住民健診では、毎年たくさんの健康情報が集まります。島根バイオバンクは、島根県内で行われている住民健診（健康診断）の結果や、健診で使われた血液・尿の一部を、将来の医療や健康づくりの研究のために、大切に保管し、役立てていく取り組みです。

これらの情報を長く安全に保管し、研究に活用することで、次のようなことに役立ちます。

- ・ 地域にお住まいの方々の健康課題を明らかにする
- ・ 病気の予防方法を見つける
- ・ 生活習慣病やフレイル（加齢による体の弱り）の早期発見

島根バイオバンクはこれらの研究に役立て、将来の健康づくりや医療の発展に役立つ、大切な取り組みです。

島根バイオバンクでは、「生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究」に参加された方から収集した情報を当バイオバンクに移管して用います。

研究の方法

生活習慣病の予知予防に関するゲノム疫学研究において収集した以下の試料・情報を安全に保管し、他の研究に活用できるようにします。

- ・ 血液（血漿）
- ・ 健康調査で得られたデータ
- ・ 自治体の健診データ
- ・ 収集した試料を用いた検査結果

- ・ 血液から抽出した DNA 検体

健診の結果や検体には氏名、生年月日、住所、連絡先等削除し、無作為な番号を付けることで、どなたのものか分からない形として研究に活用します。

研究の期間

2026 年 5 月 27 日～ 2036 年 3 月

研究の公表

島根バイオバンクは、みなさまからお預かりした試料（検体）や健康に関する情報を、大切に保管し、将来の研究に役立てるための仕組みです。島根バイオバンクそのものが、すぐに研究結果を出すわけではありません。

ただし、島根バイオバンクに保管された情報を使って行われた研究の成果や、バイオバンクを作ったことで得られた成果については、医学関係の学会や医学雑誌などで公表されることがあります。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学地域包括ケア教育研究センター 磯村 実

試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学地域包括ケア教育研究センター 磯村 実

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2586